

ドライビングシミュレータを使用したトンネル内視線誘導灯設置形態の評価

中央研究所 総合技術開発部 後岡寿成 他

○キーワード

ドライビングシミュレータ、視線誘導灯、トンネル

○概要

設置形態の仕様に関する基準が定められていないトンネル内視線誘導灯について、ドライビングシミュレータを用いて設置形態の検討を行った。評価はアンケートによる主観的評価と走行データ解析による走行行動的評価を組み合わせ実施し、設置高さ：1.20m、設置間隔：5m、点灯パターン：全点灯(左カーブ)、流れ点灯(右カーブ)、流れ点灯の速度：120km/h、坑口への設置延長：100m、発光色：橙、形状：四角の設置形態仕様が走りやすいとの結果が得られた。

○技術ポイント

①トンネル内視線誘導灯の評価

設置形態の仕様に関する基準が定められていないトンネル内視線誘導灯について、有効性、設置高さ、設置間隔、点灯パターン、流れ点灯の速度、坑口への設置延長、発光色、形状の8項目の評価を行った。

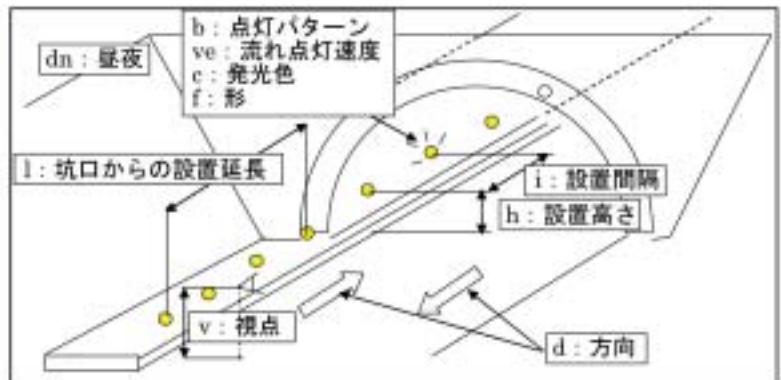
②ドライビングシミュレータの活用

実際の現場でトンネル内視線誘導灯を設置する実験方法は、多大な費用と時間を要するため、現実的に困難な場合が多い。ドライビングシミュレータを用いることにより短時間で様々な検討ケースについて実験することが可能となった。

○図・表・写真等



ドライビングシミュレータ



トンネル内視線誘導灯評価項目



ドライビングシミュレータ(CG)と実道の走行条件比較(上: CG、下: 実道)